

WILLIAM WHITEHORN

▪ Former President, Virgin Galactic

LONDON
SPEAKER
BUREAU



リチャード・ブランソンの右腕、ウィリアム・ホワイトホーンは単なる夢から本物の宇宙船とそれ自身の宇宙港を持つプロジェクトまで宇宙観光事業、ヴァージン銀河を連れて行った。2014年は、地球の表面から100マイル上の最初の商用便でした。規制は彼が米国に本拠を置く大統領に引き継ぐことを命じた（彼は現在統合輸送における英国の専門知識を促進する機関の議長を務める）が、誰もがヴァージンの航空パイオニアとしての役割の物語を語るのに適していない。

以前は北海にいた捜索救助ヘリコプターの乗組員であったWilliam WhitehornはかつてBransonを危険から追い出さなければなりません。彼は続いて、ブランソンの右腕であるヴァージンブランド開発およびコーポレートアフェアーズディレクターになりました。

Topics

- Business
- Future
- Management
- Technology

ペンドリーノ列車を含む大規模なヴァージンプロジェクトに取り組んだ後、彼はヴァージン銀河大管長の地位に就きました。彼は商用宇宙旅行の開発を担当し、Virgin Galacticをコンセプトから現実へと導きました。彼は投資家を納得させ、技術計画を監督し、すぐに地球の表面から百マイル上の毎日の飛行に導く戦略を開発しました。

次の段階のために米国に本拠を置く大統領に引き渡した後、ウィリアムホワイトホーンはベンチャーキャピタル、ブランドとコミュニケーションに戻りました。彼はPurplebricks Group PLCの創設株主でした。彼は、スコットランドのイベントキャンパス、スコットランドギャラリー、およびStagecoach Group PLCの副会長を務めています。また、チャータード・ロジスティクス・アンド・ロジスティクス研究所の副社長も務めています。

ごく最近になって、彼はClyde Spaceの所有者が彼らの衛星製造会社を合併し、それを世界的な拡大のための確固たる基盤の上に置くのを助けました。彼はまた2018年に空軍の理事会に参加しました。

ウィリアムホワイトホーンは発明と革新の間の区別を引きます - そして正しいインセンティブで民間部門は宇宙に全く新しい産業革命を創造することができるかと主張します。